



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

2025.

10月

患サポ通信

-ささえちゃん便り-

第138号



【新設】脳卒中・心臓病等総合支援センター

脳卒中・心臓病の悩みの患者様に向けた相談窓口の設置、予防啓発に係る公開講座の開催、また、勉強会や研修会等の開催による各医療機関との情報共有のため、脳卒中・心臓病総合支援センターを開設しました！

福島県立医科大学附属病院 きぼう棟1階患者サポートセンター内

(平日 8:45~17:00) 電話 024-547-1045



センター長よりご挨拶

副病院長・藤井正純
(脳神経外科)



福島県は、全国の中でも脳卒中・心臓病ともに死亡率が非常に高い状況が長年続いている、こうした循環器病の対策が非常に重要です。

広く県民に循環器病を知ってもらい、その予防を推進すること、発症したら1分1秒でも早い迅速な医療提供体制を確立すること、さらに慢性期・生活期の支援体制を充実させることなど、予防の段階から、急性期、慢性期・生活期と一貫して福島県内どこでも行えるようにする必要があります。

今回、国の支援を受けて福島県立医科大学附属病院患者サポートセンター内に、脳卒中・心臓病等総合支援センター(センター長 藤井正純副院長)を設置しました。福島県内でこのセンターがハブとなって、脳卒中・心臓病に関わる多くの職種のスタッフ、多くの病院・施設・事業所を繋いで情報を共有し、有機的な支援を実現します。また、県内のどの地域でも患者が気軽に相談することができ、適切な医療・サービス・助言が得られるようコーディネーターの役割を果たします。同時に、県民や患者の方にも循環器病を良く知っていただくよう活動してまいります。どうぞ、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



当センターでは医師・看護師・ソーシャルワーカーなど、様々な職種のスタッフがチームで患者様からのご相談をお受けします。

例えば…●病気の予防や日常生活で気をつけることは？

- 在宅医療や介護に関することが知りたい
- 福祉サービスや障がいへの支援について教えて
- 治療中の気持ちの不安やサポート 等





光が丘鍼灸院 (会津医療センター附属研究所鍼灸部)

近隣施設紹介

福島県立医科大学会津医療センターは2024年8月より医大敷地内薬局(2F)において、鍼灸院を開院しました(通称:光が丘鍼灸院)。

最近では研究が進み、鍼灸のメカニズムが明らかとなり、エビデンスの構築が進んでいます。鍼灸は症状を治療ターゲットにした治療です。そのため、不定愁訴など確定診断が付きにくい症状に対しても、東洋医学的な見地により対応が可能です。さらに、慢性疼痛(痛覚変調性疼痛、術後疼痛など)や自律神経関連の不調、緩和ケアなどに効果を示す場合が多いです。2025年に鍼灸エビデンスレポートが発表され、92疾患に効果が期待できると報告されています。特に高い効果が期待できる疾患として10疾患が上げられています。

鍼灸治療での効果が高い10疾患 ¹⁾		
慢性疼痛	変形性膝関節症	がん関連疲労
術後の嘔気	片頭痛の予防	更年期障害
腰痛	緊張型頭痛	女性不妊症
慢性前立腺炎		

1)M Hempen, et al: Complement Ther Med. 89,103149. 2025. PMID: 40021024

鍼灸の特徴は、薬物治療との併用により薬剤の効果を支援することが知られています。そのため、通常治療を行っても症状が残存する場合に鍼灸を選択肢としてお考え頂ければ幸いです。

診察室



「診療の特徴」

会津医療センター鍼灸部所属のスタッフが診療に当っています。鍼灸治療は東洋医学の診察に基づき、症状の把握や舌、脈、腹などを確認して行います。使用する鍼は鍼先が丸く、最小径で0.14mmの太さを使用しますので、刺鍼による痛みは殆ど感じません。

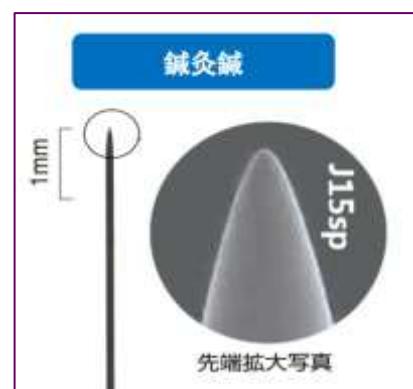
鍼灸治療に適応がある患者様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介をお願い申し上げます。

(ご紹介の際は診療情報提供書をお願い致します)

隨時、電話でもご相談を受け付けておりますので、お気軽にご連絡をお願い致します。

光が丘鍼灸院:電話番号 024-563-7833

院内PHS:7716(福島医大病院内専用)



文責:会津医療センター附属研究所鍼灸部 鈴木雅雄